

Breaktime with Braden
ブレイドの
おれいしたいむ vol.14

原文・和訳
ブレイドン・ベナイト
Braden Bennight

ワシントン州フェデラルウェイ市出身。2021年11月から国際交流員として、浦添市役所国際交流課に配属。

ウチナンチュ大会期間中に浦添であったイベント

私は最近、世界のウチナンチュ大会期間中に浦添で開催された楽しいイベントに仕事で参加する機会がありました。それぞれのイベントでは、自分のルーツについて勉強をしに海外から来た多くのウチナンチュに会いました。

10月29日にJICAの国際協力・交流フェスティバルで、自己紹介をして、出身であるワシントン州のこと、それからアメリカのハロウィーンを紹介するパネルを出しました。多くの参加者は私が紹介したハロウィーンのクラフトやパンプキン・ボウリングゲームを楽しんでいました。

浦添にルーツがあるウチナンチュのために、浦添で開催されたウチナンチュ歓迎会にも参加して通訳をしました。ハワイ州から来た多くの人に会って、移住したご先祖様の話をたくさん聞きました。それから、親戚かもしれないという浦添市民に会いに来た人のために通訳する機会もありました。その人が自分の家族の歴史について学んでいる様子を見ることができたのも、とてもよかったです。世界のウチナンチュ大会の開催期間中にここで仕事し、多くの面白い人に出会えたことが本当に嬉しいです!

Events held in Urasoe during the Uchinanchu Festival

I recently had the opportunity to participate in a few interesting events that happened in Urasoe during the period of the Worldwide Uchinanchu Festival for work. During the course of each of these events, I met many people from overseas who came to meet other Uchinanchu and learn more about their roots.

On October 29th, I hosted a booth at the JICA Okinawa Global Festa 2022, where I introduced myself, my home state Washington, and Halloween in America. Many people enjoyed the Halloween crafts and "Pumpkin Bowling" game I introduced.

I also attended and interpreted at the Urashinchi Welcome Reception, which was held in Urasoe for people who have roots here. I met many people who came over from Hawaii and heard their many stories about their ancestors who had immigrated. I also had the opportunity to interpret for someone who came to meet up with a potential relative in Urasoe. It was wonderful to witness them learning more about their family's history. I'm very glad that I was able to experience working here during the Uchinanchu Festival and meet so many interesting people!

「便利でお得なマイナンバーカード」 ハイサイ こちら市長室!

今、このコラムを読んでいるあなたはマイナンバーカードを既に持っていますか?マイナンバー制度とは、国民の一人一人に対して、固有の番号を与える(採番する)制度のことです。これまでは省庁や自治体、管理者がバラバラに管理してきた国民情報を同じ人物の場合に連携していくことが目的です。世界中の多くの国で既に採用されている仕組みであり、我が国も本腰を入れて推進中です。本市ではマイナンバーカード専用の対応カウンターを設置したり、お近くのケータインショップでも申請できるようなご協力を頂いて、できるだけ多くの市民の皆さまに申請をお願いしています。

その理由を簡単に言えば、皆さんにとっても、市役所にとっても、とても便利になるからです。例えば、市役所では、浦添市とは別の町で「同じ名前」の、同じ生年月日の、同じ性別の人物「がいた場合、その人が同一人物なのかを確認するのに時間と手間がかかります。しかし、マイナンバーがあれば瞬時に判明することが可能になります。行政が今後さまざまなデジタル化を推進し、煩雑化する行政手続きをスピーディーに対応するための基盤となるのです。

また、市民の中には身分証明書も運転免許証も、健康保険証も持っているという人もいます。これらのカードもいずれは一枚のカード(マイナンバーカード)に集約されていく予定で、ますます便利になることと見えています。

市では単に便利だけでなく、おトクになるようにキャンペーンを実施中です。今月12月31日までマイナンバーカードを申請した人は、マイポイントだけでなく、浦添市独自の「電子商品券」5千円分を先着2万人がもらえ、さらには18才以下のお子さまなら、1人あたり1万5千円分が追加でもらえる子育て世帯支援事業も実施中です。まだの人は是非ご家族まとめて年内に申請して、みんなで良いお正月を迎えましょう!



▲申請はこちら



▲マイナンバーに関するQ&A



浦添市長 松本 哲治

てだっ子STUDIO



西原在

よしあき
喜瀬 喜昭 ちゃん
(4ヶ月)
祝★百日!!

屋富祖在

はる
上原 晴月 ちゃん
(1ヶ月)
今日も大爆笑♡

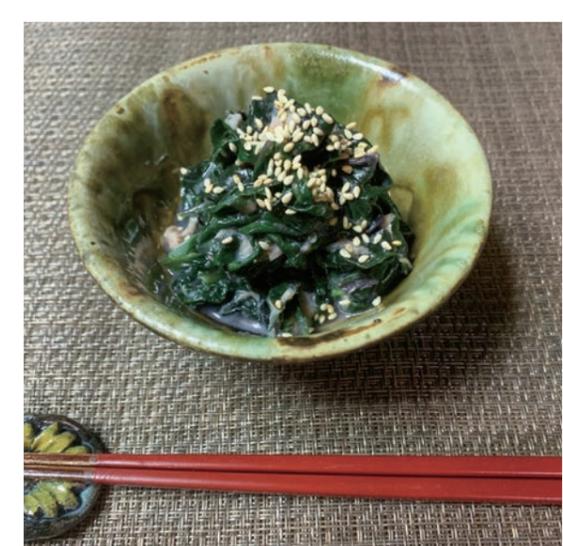
伊祖在

いちのしん
稲波 一之進 ちゃん
(1歳)
コミカルキャラのうーまー王子

写真募集中! 【募集対象】市内在住の0~9歳のお子さん
【応募方法】①お子さんの名前②ふりがな③年齢または月齢④居住区
⑤一言コメントを入力しkouhou@city.urasoe.lg.jp
(広報広聴係)へ画像データを添付し、送信してください。

●写真は、お子さんの顔全体が写っているもの(頭や顔の一部が切れていないもの)
●応募者多数の場合は、抽選の上掲載します。掲載の可否については連絡いたしませんのでご了承ください。

簡単!健康!サッと作れる! サッとごはん



ハンダマの緑と紫が鮮やかな一品 ハンダマとツナの酢みそ和え

63品目

- 材料(2人分)
- ハンダマ(葉) ……100g
 - ツナ缶(水煮) ……小1/2缶
 - だし汁 ……大さじ1.5
 - 白みそ ……大さじ1
 - 酢 ……大さじ1
 - 砂糖 ……大さじ1
 - 塩 ……少々
 - いりごま(白) ……小さじ1/2
- 作り方
- ①ハンダマは葉をつみ、塩を少々(分量外)加え、さっと茹でて冷水に入れる。水気を切り、食べやすい大きさに切る。
 - ②ボウルにAを入れて混ぜ合わせる。
 - ③②のボウルにハンダマを入れて、和える。
 - ④器に盛り、ごまをふりかけて、出来上がり。

栄養成分表示(1人前)
エネルギー96kcal/たんぱく質3.8g/
脂質4.6g/炭水化物8.4g/食塩相当量0.9g

うめ~しポイント
スーパーでも手に入る島野菜「ハンダマ」には、βカロテンやカルシウムが豊富に含まれます。加熱するとぬめりが出るので、和え物や汁物にすると食べやすくなりオススメです。

レシピ提供: 浦添市食生活改善推進員協議会